

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.165

2015年11月30日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

自分のこととしてどうとらえ、どう行動するか？ 人権教育部会 授業研究会

研究所人権教育部会が、篠山市の中学校において授業研究会をおこないました。2年生の全3クラスの道徳の時間で、教材名は「言葉の向こうに」（『私たちの道徳・中学校』文部科学省）でした。

冒頭、「言葉の向こうに」の範読を聞き、インターネットを利用する上で自分が困ったことや集団の中で困ったことを付箋に書いて意見を出し合いました。ネット上で起こる一方通行のコミュニケーションによるトラブル等、自分が経験したことや事前に家族と話し合ったことをもとに、班の仲間に伝え合いました。

次に、KJ法を使って同じ意見をまとめていきました。生徒からは「相手の表情がわからないので、けんかになることがあった」「チェーンメールなどの迷惑メールがやってくる」「写真などの個人情報が無断で公表されることがある」等の意見が出されました。

最後に、トラブルに巻き込まれないためにはどうすればいいのかを班で考えました。「相手のことを考えて利用しなければならない」「すべての情報を信じないで冷静に考える」「興味本位にネットに繋がらない」「大切なことは会って話をする」等が発表され、授業を終えました。



研究協議で、授業者からは「話し合いがあまり得意でない学級だが、今日はまあまあ話をしていたので、話し合う時間を長くとった」「意見が少ない班もあったが、最後のまとめを何とかしようと頑張っていた」等の意見が出されました。参加者からは「真剣にグループ討議ができていた」「こういう学習形態に慣れていればもっとスムーズにいった」「グループ分けのネーミングも、課題の本質をとらえたものだった」等の意見が出されました。共同研究者からは「授業の終盤で『トラブルに巻き込まれないためには』と考えるのではなく、『友だちがトラブルに巻き込まれたらあなたはどうする』等としたほうが、自分のこととしてとらえられるのではないか」「問題を自分自身のこととしてどうとらえ、どう行動できるかが大切だ」とまとめられました。

この授業は「私たちの道徳」を使った授業の大きな第一歩となりました。

（本授業の指導案は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各支部へお問い合わせください。）

